

強盗・特殊詐欺を想定した防犯訓練を実施

～ 地元警察署と連携し、防犯対策の再確認と防犯意識の向上を図る ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪府中央区、理事長 高橋知史）は、防犯対策の再確認と防犯意識の向上を図るため、全国地域安全運動（10/11～20）期間中の10月16日（水）、西成警察署と連携し、萩之茶屋支店（大阪府西成区、支店長 安井久人）で強盗および特殊詐欺を想定した防犯訓練を実施しました。

防犯訓練では、警察署員が扮する強盗が店舗に押し入り、大声や刃物で威嚇して現金を要求するという設定で行われ、警察への通報、犯人の特徴や逃走経路の正確な伝達など、強盗事件への対応方法などについて訓練しました。また、特殊詐欺を想定した訓練では、ATMコーナーに来店した被害者役の警察署員を相手に、詐欺を未然に防止するための対応話を訓練したほか、実体験や事例の情報交換を行いました。

当金庫では平成16年から継続して各警察署と連携し防犯訓練を実施するほか、平成27年からは「預手プラン」の推進など特殊詐欺被害の未然防止等に取り組んでおり、今後とも地元警察署との連携を一層強化し、地域での防犯活動に努めてまいります。

記

1. 日 時 令和6年10月16日（水）16時～16時30分
2. 場 所 大阪シティ信用金庫 萩之茶屋支店
3. 参 加 同支店職員14名
4. 内 容 当金庫職員と警察署員による防犯・特殊詐欺被害未然防止訓練、警察署員による講話、職員と警察署員との事例などの情報交換



防犯訓練の様子



特殊詐欺未然防止訓練の様子

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

